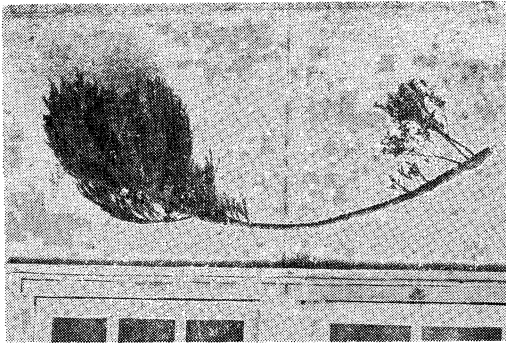


スギに寄生したマツグミ

山 田 実



先日、室井先生を招いて青桓町大名草の山で採集会があった節、スギに寄生したマツグミの例を話したところ、会誌に記録するようにすすめられましたので、誠に古い記事ですが報告させていただきます。

昭和35年の秋、6年生の子供が大路第二小学校のすぐ上の山で(標高190m、雑木林、杉の木の子供の手の届く位の高さ)杉の木に寄生した写真のようなマツグミを採りましたので、松山確郎先生の編集の「氷上の自然研

究」に記録してもらいように連絡して次のような記事にして頂きました。

「大路第二小学校上の杉の木でマツグミの寄生を発見された」

牧野植物図鑑によると「マツグミは暖地の常緑寄生灌木、主としてアカマツ、モミ、ツガの枝上に着生する」とある。スギに寄生するのは珍らしいので二、三の書物を調べてみると、次のような記事が出ていた。牧野植物分類研究下 p.133「やどりぎの寄生木のいろいろの記事の中に吉永虎馬君曰く、まつぐみはモミ並びにアカマツに寄生すと。」。白井氏樹木名考 p.299「マツグミは松の外モミ(高尾山、清澄山)ツガ、コメツガ(鳳来寺山)サワラツガ(伊勢、紀州)等にも寄生する」と。——スギに寄生したのは誠に珍しい。私はどれくらい珍しいのか存じませんが「子供と、マツグミは杉には寄生しない」と言い争いをしたのが恥かしく「こんな例もなきにしもあらずと、報告させていただきます。

(写真は発見当時うつしたもの)